事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	企画部政策企画課		■担当例	孫 政策マーケー	ティング係	
■評価事業名称	RPA適用調査実証事業					
■事業開始年度	令和元年度					
■評価事業コード	010100 - 406 ■会計区分 一般会計					
	■政策 06 市民が主役となり企業や行政と協働するまちづくり					
■総合計画での	■基本施策	05 効果的な行政運営と強固な財政基盤の構築				
	■施策	■施策 01 効果的かつ効率的な行政経営の推進				
■事業の類型	05 ソフト事業(任意) ■政策・業務区分 政策			政策		
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの					
■法令等の名称						
■関連計画の名称	北上市情報化基本計画					
■事 業 の目的と概要	RPAを導入した庁内業務の効率化について、適用業務の調査や実証等を行うもの。					

2. 細事業の活動実績情報

細事業 細事業 コード 名称	事業の対象	令和 1 年度事業計画	令和 1 年度事業量実績
01 RPA適用調 査実証事業	北上市職員及び関係課(パソコン上の定型事務処理が発生する課)	ORPA導入実験の実施・全庁から実験対象業務を募集・関係課ヒアリング・実証実験対象業務の絞込み・決定・ロボット作成・実証実験・結果取りまとめ	○RPA導入実験の実施・10/4~10/18 全庁から実験対象業務を募集(99業務) ・10/10~11/1 関係課ヒアリング、机上 検証の実施・11/5~11/18 実証実験 対象業務の絞込み・決定(4業務)・ 11/18~2/28 ロボット作成・実証実験、

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費				8,637	
人 件 費				4,726	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト				13,363	

4. 評価指標等の状況

指コ-	標指標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	実証実験事業数				4	
02	実験成功事業数				4	実証実験事業のうち、実際に導入の効果が見込まれ
						た事業の数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

	達成状況の分析	問題点・課題等
	全庁から99業務の提案を受け、導入効果がより 高いと見込まれる4業務について実証実験を行 い、業務量削減に向けての成果を得た。	・業務改善、働き方改革の視点による組織横断 的なチームづくり・RPAの運用・統制に係るガイド ラインの作成・都市プロモーション課での一元管 理・担当職員及び管理職員の理解とスキル向上
	──	1
○ 不特定多数に及ぶ	│ │ │ │ 類似の事業はない	
○ ○ 特定されるが多数に及ぶ	○ ● 類似の事業はあるが競合はない	
● 特定少数に限定される	○ 類似の事業があり競合する	
	- 	
○ 事業の廃止により重大な問題が発生 する	□ □ □ □ □ 市民生活・企業活動の維持に不可欠	て 1. で選択した人の大多数(70%程度)
● 事業の廃止により何らかの問題が発生する ● 事業の廃止による問題は想定されな	● 市民生活・企業活動の維持に一定程 貢献している○ 市民生活・企業活動の維持への貢南	│ ○ 1. で選択した人の少数(30%程度)
-6. 事業へのニーズの変化		
○ ニーズが高まっている	● 順位が高い	○順位が高い
⊚ ニーズは変わらない	○ 順位が中程度	● 順位が中程度
○ ニーズが低下している又は合致しな	い <u></u>	□ □ 順位が低い
-9. 他市町村に比較しての優位性	· 	
○ 先進的またはユニークな事業である	○ 民間委託等の拡充は難しい	今以上の効率化や改善は難しい
◉ 他と同程度の事業である	● 民間委託等の拡充が十分に可能	○ 効率化や改善を図ることは十分に可能
○ 遅れている事業である	○ 全部委託や実施主体の移行が可能	③ 効率化や改善の余地が大きい
■事業の見直し方策(評価項目2,4の補実証実験事業としては完了も今後もRPA 進めていく。	□■今後の方	充 ○ IV. 廃止·休止